

# Studyaid<sup>DB</sup> information vol.30



## Studyaid<sup>DB</sup> ワンポイントアドバイス

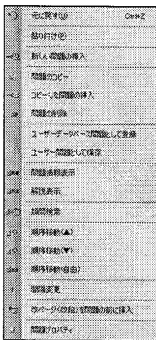
新年度が始まり、Studyaid D.B.を使い始めようという方もいらっしゃるのではないのでしょうか。ただ、慣れてくると何も考えずに手が動くことでも、最初の頃はどこに何があるかさっぱりということもあるはずです。

今回はそういう方のために、Studyaid D.B.をお使いいただく上でのコツのようなものをいくつか紹介します。

それぞれ、「コンパス」として、覚えやすいコピーをつけてあります。これからのご活用にお役立てください。

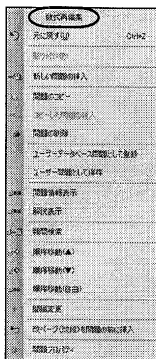
### コンパス1 困ったら中指

Studyaid D.B.では、右クリックすることでその場に応じたメニューが出るようになっています。次の作業への入り方がわからないときには、とりあえず右クリックしてみてください。その状態で使える機能の一覧が出てきます。



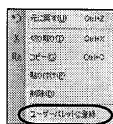
問題が編集状態のときに右クリック

問題のコピーや登録、問題順序・問題間隔の変更などができます。



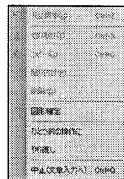
数式の上で右クリック

問題が編集状態のときのメニューとほぼ同じですが、ここから数式の編集をすることができます。  
(数式再編集)



文章を反転させた状態で右クリック

文章のコピーや貼り付けのほか、ユーザーバレットへの登録もできます。



図形を描画中に右クリック

描画中の図形を確定させたり描画のやり直しができます。



図形を選択した状態で右クリック

図形の編集に関する機能が並びます。

## コンパス2 代官 カイカイ 余は 門番 (スペースの取り方のコンパス)

コンパス2は、プリント内のスペースの取り方です。スペースをつくるには次のような方法があります。

- ① 問題間隔を増やす (Ctrlキー+Spaceキー、または右クリックメニューの [間隔変更] )
- ② 改段・改ページをする (右クリックメニューの [改ページ(改段)を問題の前に挿入] )
- ③ 余白を広げる ( [スタイル] → [画面上で余白変更] )
- ④ 問題番号をつけない問題を挿入する

※ 問題番号の個別設定は Studyaid D.B. 2006 (Ver1.1.xx) の新機能です。

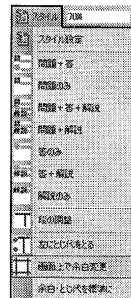
①や②は、プリント下部にスペースをつくることができます。

③は上下左右にスペースをつくることができます。

④は「表題と1番目の問題との間」や「問題と問題との間」にスペースをつくることができます。

- i) [挿入] → [新しい問題の挿入] で問題領域を作成する。
- ii) 右クリックメニューの [問題プロパティ] を左クリックし、  
「 問題番号をつける」のチェックを外す。

コメントや説明文  
を入れたいときに  
お使いください



## コンパス3 多めに選択、見ながら削除

データベースを検索して問題を選ぶときには、必要な問題数より若干多めに選んでおいて、レイアウト画面で比較しながら減らしていくようにすると作業効率がよくなります。

お使いのデータベースの種類によっては似たような問題が複数存在することもありますので、簡単検索ウィザードやランダム選択をするときにこのコンパスが役に立ちます。

## コンパス4 またかと思ったら登録機能

オリジナルの問題を作成中に、何度もつくる必要があるものについては、部品登録やユーザーパレットをお使いください。またかと思ったら登録のタイミングです。

※ ユーザーパレットは Studyaid D.B. 2005 (Ver10.xx) 以降の機能です。

### 部品登録

図形・図中数式を登録するときに使います。  
(あらかじめ部品として登録されているものもあります)

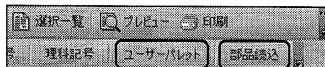
図形を選択した状態で右クリックメニューの [部品登録] を左クリック。

### ユーザーパレットに登録

文章・数式を登録するときに使います。  
(初期設定では何も登録されていません)

文章を反転させた状態で右クリックメニューの [ユーザーパレットに登録] を左クリック。

登録したものは、それぞれツールバーの [部品読込] [ユーザーパレット] から使うことができます。




# Studyaid D.B. を使いこなす

Studyaid D.B. はあるけれども使ったことがない。使っているけれども詳しくは知らない。そういう方のために、基本的な操作や便利な使い方などをご紹介します。今回は、前回に引き続き、図形を扱うときによく使う手順をご説明します。

## 第10回 図形を加工する(2)

前回と同様に、加工したい図形が含まれる問題領域を編集できる状態にしておいてください。

### 「図形編集モード」

 のボタンを左クリックして、図形を加工できる状態にします。

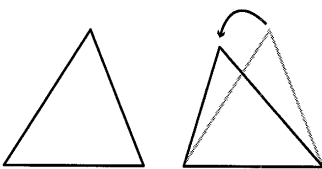
### 「図形の形を変える」

形を変えたい図形を選択します。

右クリックメニューを開いて、[端点編集] を左クリックします。

図形の端点にトラッカー(ピンク色の正方形)がきます。トラッカーの上で一度左クリックしてください。端点がマウスの移動に合わせて動きます。もう一度左クリックすると、位置が確定します。

多角形や立体図形を描くときなど、思ったものと違う図形になってしまっても、最初からやり直さずに端点編集するほうが簡単です。



### 「図形を対称移動する」

図形を選択し、右クリックメニューから [線対称]、[点对称] を左クリックする。

対称の軸となる線分や対称の中心となる点を選択して決定します。元の図形を残すこともできます。[線対称] は長さを表す円弧を逆側に移動させたいときにも使えます。


### 「図形に塗りを入れる」 「線を太くする」

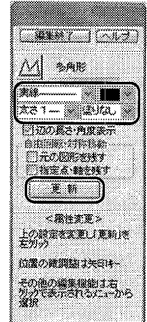
多角形であれば、その図形を選択した状態で画面右のガイダンス画面から変更します。

線の太さや塗りのパターンを選択してください。

更新ボタンを左クリックすると変更が確定します。

※ 実線で囲まれた部分を塗る場合は、塗りつぶしの機能を使います。

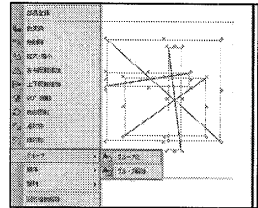
[図・グラフを描く] → [塗りつぶし] 



### 「図形をまとめる」

複数の図形をグループ化して、以後ひとまとめに扱うことができます。

図形が確定したところでグループ化しておくと、その後の操作が楽になります。



※ 図形データを囲む水色の長方形は、グループ化しないときに、それぞれの図形がページや段をまたいでしまうのを防ぐためのものです。グループ化すれば、長方形は不要です。

今回で「Studyaid D.B. を使いこなす」は終了です。長期にわたりお読みくださった方に感謝申し上げます。